



スキー協通信

東京都勤労者スキー協議会

〒170-0013 東京都豊島区東池袋2-39-2大住ビル4F 03-3971-4144
 ホームページ：<http://www.tokyoskikyo.org/> E-mail：info@tokyoskikyo.org
 ゆうちょ銀行口座： 00110-7-88004（東京都勤労者スキー協議会）
 00140-5-659281（東京スキー協スキーメイト係）
 広報局専用 E-mail：skikyo_koho@yahoo.co.jp

No.431

発行

2021.2.1

発行責任者

出崎福男



緊急事態宣言期間中の東京スキー協主催/共催行事の中止案内について

1月8日～2月7日を期間として東京都などにたいして緊急事態宣言期間が発出されました。首都圏で新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大が起きており、行事開催に伴う大人数の移動は感染拡大のリスクが大きいと判断し、以下の行事は中止と致します。

大変残念な決定ですが、ご理解をお願い致します。

1. かたしなレーシングキャンプ（関東/関越ブロック主催 1月5日に中止判断）
2. ショートターン克服講座（関東ブロック主催）
3. 舞子GSポールレッスン（競技スキー委員会主管）
4. 第45回東京スキー競技大会（前日練習会を含め中止）

尚、常任理事会として、加盟各クラブならびに会員の皆さんに、一律にスキー行事や個人的なスキー行の中止を求めるものではありませんが、よく相談され十分な感染対策を徹底されることをあらためて呼びかけます。

第47回全国スキー・スノーボード競技大会の中止について

2月27～28日開催予定の第47回全国スキー・スノーボード競技大会（全国スキー協主催）は、新型コロナウイルス感染症が拡大している事を考慮し、非常に残念ではありますが中止となりました。

目次

新型コロナウイルス感染拡大による行事の中止について……………	1頁
リレーエッセイ「雪紋」／越年スキー報告……………	2頁
技術部シーズンインキャンプ報告／事務所移転について……………	3頁
テクニカルフェスタアンケートまとめ……………	4頁
春のテクニカルフェスタ案内……………	5頁
会議の報告／Information／2・3月のカレンダー……………	6頁

コロナ禍で

新たな自分を発見

リレーエッセイ

雪紋

東京スキー協 会長 市川 正幸

昨年3月から新型コロナウイルスの猛威にさらされ、スキー行事やイベントが自粛され、スキー協の行事も中止されてきた中で、私の楽しみが増えたことが一つあります。

私の住んでいる鴻巣市には、利根川と荒川を繋ぐ武蔵水路があり、北鴻巣駅の近くの赤見台近隣公園から行田市の古墳公園入り口まで武蔵水路の脇に作られた緑道公園があります。

約5km弱の林の中の緑道にはオブジェがところどころにあり、癒されながら散歩、ランニング、サイクリングの人が行きかういいところです。梅雨時期に草わらでマッシュルームに似たキノコ、オオハラタケが私の知るキノコで、時々見つけて食べていたのですが、去年は家にあるキノコの本やフェイスブックのキノコ仲間

の投稿を見ながら、緑道公園のキノコを探すようになりました。

人がたくさん通るこの緑道公園ですが、意外な事にヤマドリタケモドキ(日本のポルチーニ)と言われるおいしいキノコが見つかり、他にも数種類のキノコを見つけ、冷凍庫はキノコだらけになっています。一番の収穫は、山奥にしかないと思っていた舞茸です。古墳公園の大木の根の周りに2株灰色のボタンの花卉のような舞茸を見て「舞い上がる」、は納得です。ランニング中だったので持ち帰るものがなく、ウインドブレーカーのパンツを袋代わりにして持ち帰りました。

毎年この緑道公園を走る楽しみが増え、新たな自分発見です。

行事は中止も、少人数でなじみのゲレンデで…

越年スキー 2020/12/30～2021/1/2

あけましておめでとうございます。

ここはどこでしょうか？

コロナ禍が収まらないなかで、練馬ヒューマンと東京スキー協の越年スキーは中止となりました。個人参加の越年スキーになり、9人が参加しました。

大雪注意報が出される中で現地到着し、一夜明けるとだんだん好転してきました。2組に分かれてゲレンデ巡りです。昼食後には青空もでて絶好のスキー日和です。

宿もゲレンデもコロナ対策は万全で、みなさんマスク姿でスキーを楽しみました。



(市川)

東京スキー協技術部 シーズンインキャンプの実施の報告

(教育技術局)

➤ 実施日：2020年12月6日(日)～7日(月)

➤ 実施場所：志賀高原 熊の湯スキー場

➤ シーズンインキャンプ開催の背景：

➤ シーズンインキャンプの目的

技術部員の滑り込みと、翌週のテクニカルフェスタに向けての技術確認(指導員応用発展技術研修扱い)

➤ 実施内容

12/6(日) 中央研修会終了後の13:30～15:30

「身体を動かす」というテーマでいくつかの技術ドリルを紹介し、参加者で滑り、議論しながら、ホテルにて技術ドリルのYouTube映像確認と実施事項の目的確認、翌週のテクニカルフェスタの実施内容などの確認

12/7(月) 9:00～12:30

「身体を動かす」というテーマの延長として、教程のプルークファーレンから洗練のパラレルターンⅡまでの確認。「ターン後半の外向傾によるしっかりとした足場作りとそれによる重心移動」の一貫性。

➤ シーズンインキャンプ参加者(敬称略)：

コーディネーター：福島 明

2日間参加：伊藤正明、川上咲子、間間 至、高橋勝美、長谷川仁、福島 明、
村本博司、山口信子(ゲスト)

初日のみ参加：長谷川かよ子、山本千秋、土方由美(ゲスト)

※技術部員以外の参加も(その方のクラブでの活動状況などを考慮して)ゲストとして認めました。

※後日、参加者全員からレポートが提出されました。

東京スキー協の事務所移転の検討について

現在の東京スキー協事務所(東池袋、大住ビル4階)は、新日本スポーツ連盟全国連盟、同都連盟、東京卓球協、全国スキー協、東京スキー協で使用スペース等に応じて家賃を分担して維持しています。家賃は総額で年7,128,000円です。

しかしコロナ感染症拡大により上記各組織が大きく収入減となっていることから、昨年10月より「事務所使用者会議」を開催して移転等の検討を開始しました。現時点の考え方として、活動を低下させることがないように、現状に近い広さの物件で家賃が半分程度のものを探して移転する方向として、各組織と調整を進めています。東京スキー協常任理事会としては、「事務所使用者会議」の意向に沿って準備をすすめていくつもりです。

移転時期は、大住ビルとの契約更新時期との関係で、今年5月から8月の計画です。不要品の処分も進めますので、万々クラブの所持品や私物を一時的にスキー協事務所に置いている場合は、2月中旬までにお持ち帰りください。

なお、東京都への緊急事態宣言発令のもと、当面の事務所開所(スポーツ連盟全国連盟事務局の在席)は原則として水曜日、木曜日(10:00～16:00)となっています。

12月に開催したテクニカルフェスタのアンケートについて

1月号で報告したテクニカルフェスタの際に、別宿から参加の1名を除き全員からアンケートを提出して頂きました。多かった意見と注目した意見について、簡単にまとめました。

多かった意見	意見数	注目すべき意見
ホテル・運営のコロナ対策がよかった	12	デモンストレーション実施の提案
また参加したい・続けてほしい	9	班分け基準の提案
ビデオ確認がよかった	6	講義内容のレジュメがほしい
少人数講習がよかった	5	毎月開催してほしい
第3週のほうがよい	5	臨機応変な休憩がよかった
交流会なしは残念	4	整列や滑る順番の配慮がほしい
時間割りがよかった	2	楽しい滑りも教えてほしい
時間割りがよくなかった	2	部屋での交流は控えるべき
		他の行事の問い合わせ

「多かった意見」について

ホテル山楽では、玄関を入るとすぐに検温機が両脇に設置され、正面玄関、食堂の前と中、エレベータ乗り場前などに除菌液が置かれていました。食堂では、通常4名席のスペースに対角線に2名席が用意され、隣とはアクリル板で仕切られ、各部屋には小型の加湿器が用意されました。多くの方が、十分な感染対策がされていると感じたようです。

行事の目的にコロナ禍に対応した少人数制ですが、多くの面で歓迎されました。通常であれば開催する交流会を望む声があり、次回以降に生かしたい部分です。また、この行事を「続けてほしい」「友人を誘いたい」といった感想が増え、行事の意義が年々理解されてきています。

今回、第2週に開催されましたが、多くは積雪量の心配のため、第3週を望む声が目立ちました。指導員受検班は、雪上講習が延長され、夕食後の講義もあるため、拘束時間が長いとの指摘があり、改善や工夫が必要かもしれません。

「注目すべき意見」について

行事の内容や班分けについての提案があり、新鮮な行事を続けるためのヒントになりました。「講義内容のレジュメがほしい」「毎月開催してほしい」という意見は、この行事で何かを得たいという積極的な姿勢がうかがわれました。また、初参加の方から他の行事の問い合わせがあり、今後の拡大につながるものと思います。一方で、レッスンのやりかたについての要望や、夕食後の過ごし方については、運営としては耳を傾けるべき意見がありました。

技術に関することや、他にも多くの意見を寄せて頂き、ここには書ききれませんが、今後の開催に生かし、会員みなさんが毎年参加したくなるような行事にしていきたいと思います。

(テクニカルフェスタ実行委員会)

『ポールをくぐってみたい』『小回りがうまくなりたい』『いろいろなゲレンデを使ってレベルアップしたい』『指導員研修を受けたい』という多くの声に応えた

東京スキー協

第2回

技術レベルアップと交流の場

春のテクニカルフェスタ 2021

好評な12月のテクニカルフェスタの参加者から「春にもこのような行事ができないか」という声が上がって2020年から新たに始まった東京スキー協の行事です。

12月にはできない「ポールを使った制限滑降」、「小回りのレベルアップ」、「いろいろなゲレンデを使ったレベルアップ」そして「指導員研修」を春の陽射しを浴びながら安全で楽しく進めましょう！

◆ **日程**：2021年3月13日(土) - 14日(日)

◆ **会場**：志賀高原スキー場

◆ **宿舎**：ホテル山楽

締切り

2021/2/26(金)

PM11:59

〒381-0401 長野県下高井郡山ノ内町志賀高原一の瀬 TEL: 0269-34-2217

一の瀬ファミリーゲレンデ徒歩1分、「ジャグジーつきトロン温泉」

◆ **募集人数**：40人 (申込方法は裏面参照)

◆ **4つのコース/参加費/宿泊パターン**：

コース (以下から1つお選びください)	参加費	宿泊パターン (以下からお選びください)
1) ポールトレーニングコース 講師:東京スキー協競技スキー委員会メンバー ※初めての方でも、楽しく練習できます ※ポールバン使用料(2日)が参加費に含まれています	パターンA: 25,500円 パターンB: 28,000円 パターンC: 19,500円	パターンA : 1.5泊3食(12日宿泊、翌日朝食～) パターンB : 2泊4食(12日夕食～) パターンC : 1泊2食(13日夕食～)
2) 小回りレベルアップコース (定員10名) 講師:東京スキー協会(SAJ)指導員	パターンA: 24,500円 パターンB: 27,000円 パターンC: 18,500円	✓ すべてのパターンに傷害保険料が含まれています ✓ リフト代、昼食代は含まれていません ✓ 新型コロナウイルス(COVID-19)のために一堂に会した交流会は行いません
3) いろいろなゲレンデを使ったレベルアップコース 講師:全国スキー協公認スキー指導員	※2)～3)のコースの方もポール体験が含まれています ※2)、4)のコースは定員制(先着順)です ※4)は初級/中級指導員対象です	※ 本行事は現地集合・現地解散(14日13時30分予定)となります ※ 1)～2)のコースに参加したスキー指導員は応用発展技術研修扱い、4)のコースは基礎技術研修扱い、となります(理論研修はありません)
4) 指導員基礎技術研修コース (定員8名(最少催行人数3名)) 講師:全国スキー協公認スキー指導員(全国技術部員)		

【新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の対策について】

行事中の新型コロナ感染リスクを極力減らすために、以下のことを理解しご自身の判断で申込みをお願いします。従っていただけない場合は「途中強制帰宅」をお願いすることもあります。なお、宿舎の1部屋当たりの定員を少なくすることを宿舎側と合意しています。

- 参加者はマスクを自ら持参し、可能な限りマスクを着用すること。マスクは宿舎に捨てないで持ち帰ること。
- 特に、宿舎やゲレンデ食堂では3密を避けるように各自注意し、必ずマスクを着用すること(食事中、入浴中を除く)。
- 志賀高原に向かう前に体調が悪い場合、発熱がある場合は、参加せず、その旨を直ちに実行委員会に連絡すること。
- 行事中に発熱があった場合は、行事参加を中止し医療機関を受診すること(そのために、必ず保健証を持参ください)。
- 帰宅後2週間以内に新型コロナを発症した場合、速やかに実行委員会に報告すること。
- 参加者の新型コロナ感染が確認できた場合には行事参加者と宿舎にその旨を実行委員会が連絡することをあらかじめ了解すること(感染者名は匿名で連絡します)。
- 行事期間中に新型コロナに感染したことが判明しても主催者はその責任を負えないこと。
- 宿舎が設定する新型コロナに対するガイドラインに従うこと。
- 申込み開始後に「緊急事態宣言が発令」されたり、「都道府県をまたいだ移動の自粛」が要請された場合など、行事を取りやめる事態となった場合には申込者にメールで連絡すること(申込み時のメールアドレスは正確に記入ください)。
- 土曜日の夜の全体交流会は行なわない予定であること(実施の場合は現地で参加費1,000円(予定)を徴収します)。

申し込みについて⇒ <http://www.tokyoskikyo.org/topics/2021bira/20210313shiga.pdf>

会議の報告

第53期 第1回常任理事会 2021.1.7 (木)

ZOOMによるオンライン会議

出席者：13人中12人

<主な内容>

1. 1月8日～2月7日の日程で、東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県に緊急事態宣言が発出されたことに伴い、総会決定に基づきこの期間の行事の中止を確認した。加盟クラブの行事については、東京スキー協として行事の中止を求めることはしないが、開催する場合は新型コロナウイルス感染症対策の徹底をよびかける。
 2. 東京スキー協通信2月号の印刷・発送（1月25日予定）、スキーメイト（1月28日入荷予定）の発送については、スポーツ連盟の事務所
3. 第47回全国競技大会については、東京スキー協への申込締切を1月30日として「東京用の要項・申込書」を用いて参加募集する。申込方法は原則メールとする。**※後日、中止決定**
 4. 12月28日現在の会員登録数426名（27クラブ90%）
会費納入数433名（27クラブ90%）
公認資格者登録数87名（29クラブ100%）
公認資格者登録料納入26クラブ（90%）
 5. 春のテクニカルフェスタ（3月行事）は予定通り開催の準備をし、募集も進める。
 6. 事務所用に新規購入した17インチノートパソコンへのデータ移行を1月中に行う。
 7. 事務所の移転についての検討状況を報告した。

石打丸山 SL 練習会 + 記録会 競技スキー委員会

日程：2021年2月20日(土)～21日(日)

場所：石打丸山スキー場（新潟県）

参加費：21,000円（1泊2食、レッスン料、傷害保険、諸経費含む）

宿泊：飯酒盃（いさはい）旅館 〒949-6373 新潟県南魚沼市上野271 TEL 025-783-2119

申し込み/問い合わせ先：Email tokyoskiky@yahoo.co.jp（競技スキー委員会専用メール）

詳細・申込用紙 <http://www.tokyoskiky.org/iinkai/gijutsu/2021img/20210220ishiuchi.pdf>

締め切り
2/11(木)

2・3月のカレンダー

2月	行事名	3月	行事名
2/4(木)	常任理事会	3/13(土)	関越・関東B 初中級指導員検定会
2/6(土)	東京スキー競技大会 中止	3/13-14(土日)	春のテクニカルフェスタ
2/8(月)	競技スキー委員会	〃	指導員研修会（基礎技術）
2/10(水)	広報局会議	3/17(水)	広報局会議
2/20-21(土日)	石打丸山 SL 練習会	3/20-21(土日)	S T C & デモ選（全国）
2/22(月)	通信発行/総務局会議	3/29(月)	通信発行/総務局会議
2/27-28(土日)	全国スキー競技大会 中止		

編集後記 **エビノシippo**

「先月より週1ですがジムに通っています。来るスキーシーズンに備えてが主たる理由ですが…」と書いたところ、局会議で、どんなことやっているか書いてくれ、と言われました。御大層なことを書けるだけの知識も足前もありませんが、その概要を紹介します。とあるスキーインストラクターの指導の下で、ターンポジションを作る際の体の使い方、とりわけ骨盤と股関節がスムーズに動くようにすること、可動域を広げることが主眼にしています。やって感じることは、スキーは日常生活ではあまり行わない動きが少なくなく、毎回股関節がパンパンになります（苦笑い）。蛇足ですがトレーニング後に自転車を30分ほど漕いでいい汗かいて、その後のビールが最高です。（芦村）